

e-ZUKAスマートフォンアプリコンテスト 2017

(参考例)

アプリケーション企画書 (表紙)

アプリのタイトル	婚タクト
応募するテーマ (該当テーマを1つ選択してください。エントリーシート提出時から変更可能です。)	<input type="checkbox"/> テーマ1 子育て・学習・趣味 <input checked="" type="checkbox"/> テーマ2 生活(仕事)の利便性向上 <input type="checkbox"/> テーマ3 健康・医療・介護
各部門へのエントリーの有無	<input type="checkbox"/> 先端分野部門へのエントリー
応募者名 (グループ名) エントリーした際の名称を記入してください。	パンダベリー from P&D
公表用の名称 ※上記、応募者名(グループ名)以外の名称で公表を希望するとき記入	
受付番号	XXX

※ アプリケーション企画書の「表紙」はこの様式を使用してください。

※ 一つの作品で応募するテーマは必ず一つだけを選んでください。

※ 受付番号欄には、エントリー受付時に通知した番号を記載してください。

※ 2ページ目以降のアプリケーション企画書の様式は自由ですが、下記の事項については必ず記載し、なるべく10ページ以内(表紙を含む。)、A4版で作成してください。

(1)「アプリのコンセプト」

・どのようなアプリなのか、わかりやすく記載して下さい。

(2)「アプリの内容」

・稼働環境、使用言語、知的財産権の有無等の必要事項を記載して下さい。

(3)「画面遷移図」

・画面デザインもわかるように記載して下さい。

(4)「その他」

・その他、特にアピールしたいポイントなどがあれば記載して下さい。

(1) 「アプリのコンセプト」

『幸せへの婚タクト』

結婚式は長い人生において最大のイベントといえます。こういった最大のイベントを一生の思い出として残すために、LINE や Facebook などグループを作り、写真等を共有しています。しかし中には、SNS の ID を知られたくない人も多く、そういった人たちは友人を介して写真を受け取っているのが現状です。

そこで、このアプリを活用することにより、この問題を解決します。個人の情報は氏名のみで、結婚式の招待者と写真や動画を共有することができます。

アプリ内で共有することによって、出席できなかった方にも共有が簡単にできることや、新郎新婦の知り合いという限られた範囲のため、安全に共有できます。

(2) 「アプリの内容」

- ・ 稼働環境: iOS
- ・ 使用言語: swift
- ・ 知的財産権: なし

(3) 「画面遷移図」

1. Splash画面



招待状にアプリ「婚タクト」をインストールできる URL を記載しておき、招待された人がインストールする。

そして、アプリを開いた時の splash 画面が左図に示したものです。

2. 招待状の説明画面



次に、招待状の QR コードを読み取り、グループに参加するように促す画面です。

左図に示した画面の下側にある「QRコードを認識」という青いボタンを押すと QR コードの読み取り画面に移動する。

3. QRコード読み取り画面



招待状の QR コードは、招待した新郎新婦グループ専用のものであり、この QR コードで招待した新郎新婦のグループに参加できます。

QR コードが青い枠に収まるようにして読み取ります。

4. 招待した新郎新婦のグループ専用の画面



QR コードから読み取った招待した新郎新婦のグループに入った時の画面です。

招待した新郎新婦の名前や写真とコメントが表示されます。「次へ」ボタンで次の画面に遷移します。

5. 出席確認画面



結婚式の日時や場所が表示され、「出席」または「欠席」ボタンで結婚式に出席するかどうかを新郎新婦に伝えます。こうすることで、招待された人はわざわざポストに返事を返さなくて済み、新郎新婦も人数確認が簡単にできるようになります。

ここで「出席」「欠席」のどちらを選んでもホーム画面に遷移されます。そこで新郎新婦の設定した期限までこの返答は変更できます。

6. ホーム画面



ホーム画面では挙式までのカウントダウンの表示や式場案内、式のプログラム、新郎新婦の歩んできたエピソードなどが閲覧できます。

下のタブから「メッセージ」、「写真」、「その他」に遷移できます。

7. 担当者や友人同士のメッセージ画面



ホーム画面の式場案内には席次表が含まれており、自分や友人の席がどこであるか確認できます。アイコンをタップすると新郎新婦との関係と名前が表示されます。

8. 担当者や友人同士のメッセージ画面



下の「メッセージ」のタブを選ぶと、新郎新婦が式の余興担当の人やスピーチ担当の人との段取り確認や、招待された人同士でも確認事項があれば自由に書き込めます。

これを利用することで、担当者との相談がこのアプリ内で完結できる。また、全員に伝えたいことがあったとしても何度もアナウンスすることなく、ここに書き込むだけで伝えることができる。

9. 写真共有画面



次に、「写真」のタブを選択すると、結婚式で撮った写真を閲覧できる。写真は右上の「+」でアップロードできます。

10. その他の操作画面



そして「その他」のタブを選択すると自分の情報の確認・変更や、出欠情報の変更、別の招待状の読み取り、アプリの説明ができます。

自分の情報には、名前や新郎新婦との関係や新郎新婦に向けてのひとことなどがあります。また、ひとは編集することができます。

そして、期限ないであれば、「出欠情報変更」で出欠を変更できます。

さらに、「別の招待状を読み取る」で今回招待された新郎新婦がこのアプリを用いる場合に、ここからQRコードの読み取りができます。

最後に、このアプリの説明を「このアプリについて」で確認することができます。

(4) 「その他」

このアプリでは、一般的に6ヶ月もかかってしまう式準備において、出席者の

人数確認やスピーチ担当者・余興担当者などの担当者とのコミュニケーションがもっと効率的に容易にできるようにメッセージのやり取りをすることもできます。

このアプリを使えば、新郎新婦の友人同士でも会話ができるため、幸せのお裾

分けが頂ける可能性もあるのではないのでしょうか。

これらが実現すれば、この結婚式は魅力的なものになると思いませんか。結婚

式に関わる全ての人の幸せへの「コンタクト(つながり)」になります。